

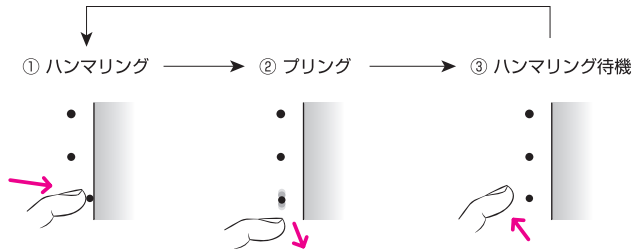
注意点1



プリングの軌道を小さくして音をスムーズに繋げよう!

レガート・フレーズでは、**プリング**を行なう指の軌道を小さくすることが大切だ(図1)。こうすることによって、ハンマリングにスムーズに移行できるので、音を滑らかに繋げていけるだろう。また、“ハンマリング&プリングの軸指”になる人差指の押弦も正確に行なうように心掛けてほしい。

図1 ハンマリング→プリング→ハンマリング



プリング後の左手の軌道を少しでも小さくすることが大切だ。

注意点2

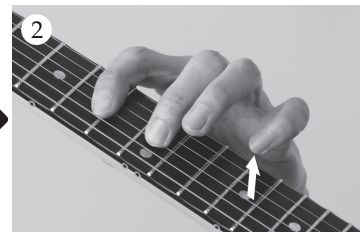


人差指は4弦上でキープ! 滑らかな運指を実現せよ

メイン・フレーズ1小節目1&2拍目では、フィンガリングの土台となる人差指の押弦をしっかり行ないながら、中指と小指のハンマリング&プリング動作に気を配ることが大切だ(写真①~③)。また、**5弦14フレットに小指が移動する時に、人差指を4弦上に残しておく**と、**スムーズな運指になる**だろう(写真④)。常に先の動きを見越したフィンガリングを心掛けよう。



1小節目1拍目の3音目。小指を弦に引っ掛けよう。



小指によるプリング。中指の押弦をキープしよう。



中指によるプリング。次の小指を意識しておこう。



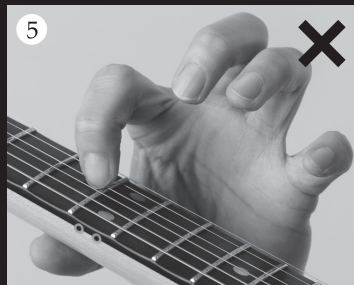
小指が5弦に移動しても、人差指は4弦上で待機!

~コラム12~

地獄の戯れ言

ハンマリング&プリング音をしっかり出すために、指を立てることは決して間違いではない。しかし、人差指を立ててしまうと、余弦のミュートが甘くなり、ノイズが発生してしまうことがある(写真⑤)。これまでも何度も解説しているが、ソロ・プレイでは人差指は寝かせ気味にして、隣接弦の余計な振動を抑えるようにしよう(写真⑥)。

クリアなレガートを弾くための秘訣 人差指によるノイズ除去作戦を実行せよ



人差指の押弦時。指を立てると、隣接弦のミュートができなくなってしまう。



人差指の第一関節を少し曲げることによって、指をやや立てながらも余弦のミュートを行なうことができる。

【ハンマリング&プリングの軸指】ハンマリングの直前に鳴らす音とプリングの直後に鳴らす音を押さえている指のこと。この指の押弦が甘くなると、綺麗に発音できなくなるので注意!